

こんにちは！日本共産党京都市会議員

# 玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2024年9月②号

## 年金少し増えて、負担は増大・・・

「8月から介護保険の利用料が1割から2割負担になった」「区役所に間違え出ないかと、聞いたら『合ってます』と言われた」という相談がありました。

→今年、4月から年金が少し上がりました。本人の所得が年金160万円未満だと、1割ですが、160万円を超えると、2割負担になります。どれぐらいの方が対象になっているかは、資料請求中です。

年金は今年の4月分から原則2.7%の増額で、年間約2～6万円の引き上げになっています。しかし、介護保険の利用料の負担が2割になった方は2倍になるわけですから、月額8,626円の方で計算してみると、8,626円×2倍→17,251円となり、年間での支払いは20万円を超え、103,512円の負担の増大となります。年金が増えた金額をはるかに超えます。「年金増やしてもらわない方が良かった」という声さえ、聞こえてきます。政府のやり方はあまりにもずさんと言わざるを得ません。対策が早急に必要です。

ぜひ、ご意見や経験をお寄せください！

## ペットボトルがない「自動販売機」

ペットボトルで水や飲料水を買ったり、飲むことは、ごく普通の生活になっているかもしれませんが、環境のことを考えると、良いわけではありません。なるべく、減らしていく必要があります。東京都品川区の「エコルとごし」という環境のセンターでは、自動販売機にはペットボトルの製品は入れていないということを学び、京都市会の環境福祉委員会で紹介すると、なんと「京都市も市役所の本庁舎と別館の自販機にはペットボトルは入れていない」とのこと。確かにアルミ缶製品ばかりで、ありませんでした。ではなぜ、そのことをもっと宣伝しないのか・・・？国全体で、ペットボトルの製造そのものに、もっと規制をしていかななくてはなりません。



←ペットボトルがない自動販売機

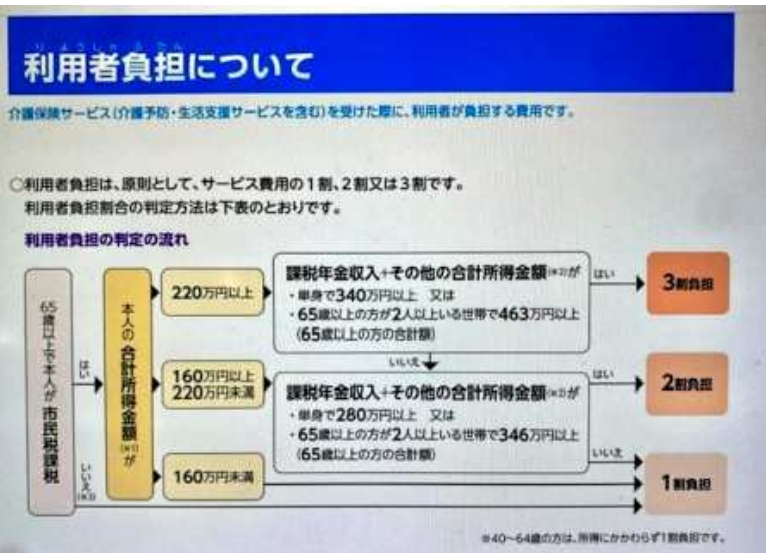
## トピックス：お米さんやスーパーに新米

お米屋さんやスーパーに新米が並び出しました。しかし、値段が高くなっています。米の種類や流通により、価格は異なりますが、あるお米屋さんでは5キロ3000円超えになっていました。



農家、小売店、米卸、消費者、スーパーなどそれぞれの立ち位置があります。国の政策として制度や仕組みを作り、バランスを取る必要があります。

それぞれが困らないようにしなくてはなりません。



左図は、冊子「京都市すこやか進行中」の40ページに記載されています。



京都市に要望書を手渡す。後方列右から2人目が玉本なるみ市議

学生さんからは、食費が足りなくなり、昼ごはん抜いている」親に送金してと言いつらい」送ってもらったお米でごはんだけ食べている」などの声を紹介がありました。肉や魚、野菜など、食料品の値上がりが、ここまできてくるのかと、苦しくなりました。京都市には国に、学費の無償化を求めてほしいこと、家賃や市バス、地下鉄の定期券の補助等京都、市としてできる支援を求めました。

## 学費ゼロの要望

## アンケート

奨学金返済総額は10兆円です。日本という国は若者に負担をかけすぎです。日共産党市会議員団と学費ゼロプロジェクト代表の堀川あきこさんで、高等教育無償化へ緊急要請を京都市に行いました。

